

キューピットハウスだより NO.11

寒さも和らぎ、暖かく気持ちのよいポカポカ陽気と共に新年度のスタートですね。
ご入園・ご入学・ご進級おめでとうございます。
今年度もお子様と保護者の皆様にとって、安心して利用できる場所となりますよう
スタッフ一同努めてまいります。

4月から5月はお子さんにとって体調を崩しやすい時期でもあります。新しい環境や先生・お友達とお子さんにとってワクワクいっぱい楽しさの反面、慣れるまでに緊張したりしんどくなったりするお子さんもいます。そのため、風邪をひいたり熱がでたりと体調を崩すお子さんが増えます。

保護者の皆様もお子様の急な体調不良でお仕事を休めない場合、不安や心配になると思います。そのようなときは是非、病児保育を頼って頂きたいです。

病児保育とは…？

病中または病気の回復期にあるお子さんを、仕事等の都合のために家庭で保育できない保護者に代わって、医療機関等に併設された施設で看護師と保育士が医師と連携をはかりながら一時的にお預かりする事業です。

一般的に、発熱症状がでたりインフルエンザや水痘などの感染症にかかったりした場合、保育園等の集団保育の場に預けることができません。

仕事が休めない・近くに預ける人がいない場合に、病気のお子さんを一時保育することで保護者が安心して子育てできる環境を提供することが病児保育の目的です。

子どもが慣れるか不安…

初めて利用されるお子さんにとっては、初めての場所、初めての人で不安も多いと思います。慣れたお子様でも保護者の方が退室される時に泣くことが多いです。

キューピットハウスでは、まずお子様の不安を取り除き安心して過ごせる環境づくりを最優先させます。お子様によっては抱っこをしたり背中をさすったり、好きなおもちゃで気分転換を図ったりと方法は様々です。

そのために、事前に保護者の皆様にお子様の性格や好きな遊びなどをお伺いしています。

お子様の性格や体調に合わせてゆったりとした環境で過ごしますので、慣れた頃には涙も止まり、リラックスして笑顔も見られます。体調に変化があった場合も、すぐに医師や看護師と連携し、適切に対応していきます。

また利用することに対して、不安なことやお聞きしたいことがあればお気軽にご相談していただけたいと思います。

※お子様の不安に対する対応は、キューピットハウス便り NO.7 にも詳しく掲載しておりますので是非ご覧くださいませ。

キューピットハウス感染状況

今年の1～2月にかけて数年ぶりにインフルエンザ A 型が流行しました。3 月も約半数 4月は1名の利用がありました。その他は、急性上気道炎や咽頭喉頭炎の利用が多く見られました。

普段から、栄養バランスのよい食事をこころがけ、旬の野菜や果物も積極的に取り入れましょう。また、睡眠不足は免疫力を低下させるため、睡眠をしっかり取りましょう。

わからないことがあれば…

お気軽にご相談ください。こんなこと聞いてもいいのかなと思うことでも大丈夫です。保護者の皆様の心の負担が少しでも軽減されるようお手伝いできればと思います。

問い合わせ先

細木病院 キューピットハウス

電話番号 088-822-7211(病院代表)

開設時間 月～土 8:00～18:00(日・祝はお休みです)